

皆様こんばんは！ようこそいらっしゃいました。先週はいくつかの行事がございました。

まず池田節子会員が「孔子会」から表彰されました。皆さんには来週写真等でご報告したいと思います。赤坂で料理店を営んでいらっしゃる「孔健」さんは、中国 2300 年前の「孔子」の 75 代目だそうでございます。池田さんが、格調高き賞を頂いたということで私は非常に嬉しくなりました。

又女性自身の今週号 102 ページに「マダム路子」と「片岡五郎」さんが、カラー4ページで掲載されています。大変なご活躍で、本当に嬉しく思います。皆様のテーブルにもその週刊誌が置いてありますのでご一読ください。

さて、御苑ロータリークラブに将棋同好会がありませんが、豊田副会長は将棋四段を所持されており、私などは飛車角金銀落ちでも簡単に負けてしまうのではないかと思います。

今頃はコンピュータが大変優秀になり、人間の世界を制覇する時代になりましたが、チェスや将棋もコンピュータ相手に試合をやるそうです。日高さんなどはよく御存じだと思いますが、チェスの場合は世界チャンピオンでもコンピュータには勝てないそうですが、将棋の場合は、豊田さんクラスの将棋指しであれば、コンピュータに勝てるそうです。何故かといえば、チェスは「相手の駒」を取ってそれを使うことができないのですが、将棋はそれを自由に使うことができるのです。これをプログラムするのは大変難しく、将棋の世界だけはまだコンピュータに制覇されない世界で、それだけ複雑な競技なのでしょう。私にしてみれば簡単に思えたりするのですが、コンピュータにしてみれば非常に難しいようです。

その将棋が、敗戦後日本の昭和 20 年に、消滅の危機に遭ったそうです。何故かというはチェスより優秀な頭脳を持った将棋指しがやっている競技というのは非常に危険なものである。いずれまたアメリカをやっつけにくるだろうから、将棋を日本から奪ってしまえということで、マッカーサーが参謀のホイットニー将校に将棋絶滅を命じたそうです。そのホイットニー将校は、秀才で日本国憲法原案を創ったとも言われています。

これに対する日本の名人は今でも有名ですが、「升田幸三」という将棋の名人でした。彼は若く名も無い頃に、将棋の名人に3連勝した後に「将棋の名人というのはゴミみたいなものだ」と大笑いした武勇伝の持ち主でありました。

升田が日比谷のGHQ本部に呼ばれ、将棋について尋問を受けたそうです。ホイットニー将校は「日本の将棋は、思想的にも非常に危険である。金であれ銀であれ、奪った駒をそのまま自分の兵隊として運用する。人権無視の戦いをするという危険思想が流れている。したがって至急、日本将棋連盟を解散し、将棋を絶滅しろ」と言ったそうです。

それに応じて升田幸三は果敢に次のように反論したそうです。「チェスは相手の駒を取って捨ててしまう、虐待であるが、日本の将棋は金であれ銀であれ、ものにした捕虜を自分の軍隊として、同じ階級の金・銀として活用し、捕虜といえども職場・職務を与え、非常に人道的である」

この反論に怒り狂ったホイットニーは「ふざけたことを言うんじゃない！」「日本の将棋名人クラスは日本軍総司令部に多数招かれ、戦略を立てるために協力したのだ。それが全部証拠としてある。恐ろしい戦略を持ちアメリカを脅かすような考えを持っているような、また育てるような将棋というのは一切まかりならん」、と言ったそうです。

升田幸三はそれを聞いて「それはおかしいじゃないか。将棋の名人級が総司令部に乗り込んで、日

本の将棋の思想家、幹部が軍略を出したことによって日本が負けてアメリカ合衆国が勝利した。そこに将棋指しの価値がある。ホイットニーは「一本参った」ということで将棋は、今も脈々と日本人の中に趣味として残っているということでございます。

将棋連盟の幹部でもあった「岸信介」は、当時巣鴨プリズンにいましたが、のちに総理大臣となり、その孫である「安倍晋三総理大臣」は「将棋電王戦」の後見役ともなっています。

余計な話をしてしまいましたが、先週は池田節子さん表彰の二次会が「上野の鰻屋、亀屋」の4Fでございまして、大変な観客が集まっていました。今は亡き直木賞作家である「藤本義一さん」の奥様「藤本統紀子さん」がシャンソンを歌っておられ、とても感動致しました。会が終わり、彼女に「御苑ロータリークラブには、四段の将棋指しがいます」と言いましたら、その方にCDにサインをして差し上げたいということで、サインを頂きました。「人生は一場の舞！正司様へ。統紀子 9月29日」豊田さんにこれを差し上げたいと思います。(拍手)

<閉会点鐘:黒岩会長>

今日は志熊委員長どうもありがとうございました。米山委員会の事業につきまして、当クラブは今年度、功労者を最低5名と、功労者になれなくても最低限一人1万円を目標として全員で達成するようにしておりますので乞うご期待いただきまして、御苑RCを育てていただきたいと思う次第でございます。

特に今日思いましたことは、事業そのものよりも事業を卒業された方が多数いらっしゃいます。先程言われました学友会が台湾、韓国等に存在するのですが、まだ結成されていない、特にベトナム、カンボジア等、こういうところを中心に学友会の設立、応援をさせていただければ更に友好が深まるのかなと思います。

もちろん韓国、台湾につきましては当クラブでは「友好クラブ」を中心に推し進めておりますが、米山事業のご寄付につきましては委員長のご指摘のように、まだうちのクラブは行き届いておりません。今月の「ガバナー月信」がお手元にあると思いますが、裏表紙の左下にご寄付された方が掲載され、長くその業績をたたえていただけるようになっております。

今期は、まだ10月でございます。われと思わん方はご遠慮なく事務局にお申しつけていただいて米山功労者の一員になっていただければと思います。志熊委員長、今日はありがとうございました。(終わり)